

今、起きている偏見や差別について

学校はもちろん、社会で許されないことの一つに「いじめ」があります。いじめは何故おこるのか。皆さん、考えたことがありますか？

原因として真っ先にあげられるのは、相手に対する思いやりの欠如です。そして、思いやりのある人に共通して言えるのは、相手のことを理解しようとする気持ちを常に持っている人が多いことです。相手を思いやること、理解しようとする気持ちの欠如からおこるいじめと同じく、偏見や差別も同様にして起こります。

今、新型コロナウイルスの感染爆発が起きている世界で、そして日本で偏見や差別が起きていると報道されています。中国人やアジア系の人々が欧米で偏見や差別の対象になり、また流行地の移動に伴って、ヨーロッパの国同士でも起きているようです。日本国内においても同じようなことが起きているそうです。新型コロナウイルスの感染が拡大した地域を訪れたかどうかの調査で、仕事で訪れたと答えた世帯の子どもが、健康状態に問題がないまま、自宅で待機するよう求められたことがありました。運送業者や感染症の治療などにあたっている医療関係者、不特定多数の人と接触する機会の多い職業に従事する人とその家族、そして不幸にも感染してしまった人やその家族に対して、偏見や差別が生まれないようにするには相手を思いやる気持ちや理解しようとする気持ちが大切です。

宝達高校の生徒は思いやりのある生徒であってほしいと思っています。

また、皆さんへは臨時休業中のお願いとして生徒課から通知があったと思います（ホームページにも記載してあります）。これとは別に臨時休業中は特に以下の2点に注意してください。

1. SNS等に誹謗中傷をアップしない（一度アップしてしまうとその情報は一生消えません）。
2. 正確な情報に基づいた適切な行動をとる。

また、みなさんや保護者がいじめや偏見などに悩んだ場合は学校に連絡したり、「24時間子供SOSダイヤル」などに、相談してほしいと思います。電話番号は、0120-0-78310です。

（なやみ言おう）